



11月定例会議 一般質問

県民のみなさんの願い届けて論戦

県独自の給付型奨学金の創設を

ふしきみちよ県議は、日本民主青年同盟滋賀県委員会がおこなった街頭アンケートで「学費が高い」「奨学金が返せるか不安」「バイトで勉強や睡眠時間をけずっている」「教科書が買えない」など、県内の学生の深刻な実態を紹介。三日月大造知事に対して、教育の機会均等を保障し、滋賀の高等教育振興のために、県独自の給付型奨学金制度の創設を求めました。

また、OECD（経済開発協力機構）諸国では3割もの学生が給付型奨学金を受けているのに対して、現在示されている政府与党案では、対象が2%余りにとどまっていると指摘。国民の期待にこたえる規模と内容で本物の給付型奨学金制度としてスタートできるように国に求めるべきと迫りました。知事も「あまりにも限定的だ」という議員の指摘を共有したい」という認識を示しました。



一般質問するふしき県議

取り上げた項目

- 1 給付型奨学金制度の創設について
- 2 特別支援学校の大規模化の解消について
- 3 県職員の長時間労働をなくすことについて
- 4 湖西線を守り、バリアフリー化を促進することについて

「湖西線を守る住民の会」のみなさんと県へ要望。JR唐崎駅を調査するふしき県議



くらしの足を守れ

湖西線の経営分離は認められない！ 駅エレベーターの設置を！

11月25日、「湖西線を守る住民の会」が、三日月知事宛てに、「JR湖西線の経営分離・第3セクター化に反対する要請」をし、ふしき県議が同席しました。「会」では、湖西線を安心して利用できるよう駅のバリアフリー化や、転落防止策を講ずることも求めています。

ふしき県議は、「会」の要望を取り上げ、「北陸新幹線敦賀以西の新幹線建設で、湖西線が並行在来線として経営分離の危険があり、運賃の値上げなど住民に負担が押し付けられる」と指摘し、「経営分離は認められない」と主張。知事も「受け入れられない」と答弁しました。

また蓬萊駅以北の全駅にエレベーターの設置を求めるとともに、JR唐崎駅の点状ブロックの1部を柱がふさいでいる現状をあげ、視覚障害者のホーム転落防止のための安全対策をとるよう求め、知事は「JRに積極的に働きかける」と答えました。

みちよの
かけ歩き(記)

「大津に養護学校をもう1校建てて！」 児童生徒が開校時の3.4倍に（草津養護学校）

草津養護学校の保護者のみなさんと懇談。年々子どもたちが増加していることから、「大津市にもう1校養護学校を建ててほしい」と要望が寄せられました。大津市には北部の子どもたちが通う北大津養護学校の1校のみで、南部の子どもたちは草津養護学校に通っています。

草津養護学校では現在345人で開校当初の3、4倍にもなり、来年度も増える見込みです。県教育委員会は5年前、児童生徒の増加に緊急的な「対応策」をたて、増築などおこない、草津養護学校ではグラウンドに校舎を増築。そのため鉄棒もぶらんこなどの遊具もありません。私は「特別支援どころか、地域の学校に当たり前のようにある遊具もない」との保護者の声を紹介し、大規模化で子どもにしわ寄せがされていると指摘。教育長に対して「1人1人の成長発達を保障する教育ができる学校の規模にすべき。対応策を見直し、ただちに養護学校の新設を」と求め、三日月知事に教育予算を増やすよう迫りました。（ふしき）

生活相談会をおこないます。

日時：12月19日（月）午後3～5時

場所：ふしきみちよ事務所 無料・秘密厳守

2016年12月13日 発行：ふしきみちよ事務所
大津市末広町4の4 Tel・Fax 077-523-0334
メール mfushiki@beach.ocn.ne.jp ふしきみちよ公式ホームページ <http://fusiki.huu.cc/>

ふしき みちよ

検索